

社会資本総合整備計画【下水道】

(社会資本整備総合交付金)

御所市の快適な暮らしを実現するための下水道整備の推進(第二次)

御所市 環境建設部 都市整備課

(記載例) 社会資本総合整備計画

計画の名称	御所市の快適な暮らしを実現するための下水道整備の推進（第二次）							重点計画の該当							
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）		交付対象	御所市											
計画の目標	御所市の下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
計画の成果目標（定量的指標）	・御所市の下水道処理人口普及率を、58%（H28）から60%（H32）に向上させる。														
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考						
						当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H30末）	最終目標値 （H32末）							
	御所市の下水道処理人口普及率（%） ＝御所市の下水道処理区域人口（人）/御所市の行政人口（人）					58%	59%	60%							
全体事業費	合計 （A+B+C+D）	2,521百万円	A	2,516百万円	B	C	5百万円	D	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0.30%					
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
1-A-1	下水道	一般	御所市	直接	御所市	大和川上流・宇陀川流域下水道（第二処理区）	汚水管φ200mm等 L=10,000m	御所市						2,500	
1-A-2	下水道	一般	御所市	直接	御所市	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	御所市						16	
													合計	2,516	
B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
													合計	0	
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
1-C-1	下水道	一般	御所市	直接	御所市	下水道BCP（詳細版）策定	下水道BCP策定業務	御所市						5	
													合計	5	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	下水道整備に加えて下水道BCPを策定することにより、災害時を含めいつでも下水道を使用することができる快適な環境が実現する。														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 御所市の快適な暮らしを実現するための下水道整備の推進(第二次)

事業主体名： 御所市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との整合性	
1) 都道府県構想と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	
1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 住民等から事業実施の要望がある。	○